

# スポ協いばらき 第54号



令和3年度世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業  
第2期生ジュニアアスリート育成プログラム 開講式



公益財団法人  
茨城県スポーツ協会



# 茨城県スポーツ協会はスポーツシーンを支え、応援します!!

## 競技力の向上



- ・トップアスリートの育成と強化。
- ・ジュニア選手の発掘と育成。
- ・国民体育大会に向けた強化推進と選手派遣。

## 総合型地域スポーツクラブの育成



- ・県総合型地域スポーツクラブ協議会の育成。
- ・未育成市町村への普及、育成活動。
- ・創設支援クラブ、既存クラブに対する支援。

## 表彰・顕彰



- ・スポーツ協会長褒状の授与。

## スポーツ少年団の育成・活性化



- ・スポーツ少年団各種大会の開催。
- ・交流会の開催。(地域交流・国際交流)
- ・スポーツ少年団リーダーの育成。

## 県民スポーツの育成・普及



- ・スポーツ大会の開催。
- ・スポーツ指導者の養成。
- ・スポーツドクターの養成。

## スポーツ施設の管理・運営



- ・堀原運動公園、笠松運動公園の管理・運営。
- ・スポーツ教室等イベントの開催。

## CONTENTS

巻頭言(会長あいさつ).....	1
世界へ羽ばたくトップアスリート事業.....	2
第77回国民体育大会冬季大会成績報告.....	3
第77回国民体育大会関東ブロック大会競技日程・会場・アクセス一覧..	4
第77回国民体育大会日程・会場地一覧.....	5
スポーツ協会長褒賞体育協会長褒状受賞者紹介.....	6
受賞者の声.....	9
令和3年度県民総合体育大会兼国民体育大会茨城県大会.....	10
スポーツ指導者研修会.....	11
公認コーチ1養成講習会.....	12
総合型地域スポーツクラブ紹介.....	13
スポーツ少年団スポーツ大会事業報告.....	14
管理事務所通信(堀原運動公園・笠松運動公園).....	19
加盟団体より.....	21
令和4年度の主な事業予定.....	25
賛助会員のみなさまへ.....	26
toto助成事業の実施状況報告.....	29
toto理念広告.....	30

## 表紙写真

第2期  
ジュニアアスリート育成選手  
ジュニアアスリート育成プログラム  
(開講式にて)

## 巻頭言

公益財団法人茨城県スポーツ協会  
会長 大井川 和彦



平素より、本協会の諸事業の推進に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度は、1年の延期を経て東京オリンピックが開催され、本県においても茨城カシマスタジアムでサッカー競技が開催されるとともに、スポーツクライミング競技で本県出身の野口啓代選手が銅メダルを獲得するなど、本県スポーツも大いに盛り上がりを見せました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、三重県で開催予定であった第76回国民体育大会が中止となり、出場に向けて日々努力してきた選手や関係団体の皆様には、2年続けて開催されないことで大きな影響があったことと思います。このような状況ではありますが、各競技団体におかれましては、目標を見失うことなく更なる競技力向上に取り組まれることを期待しております。

さて、本協会は、昭和6年の設立以来、長きにわたり茨城県体育協会の名称を用いておりましたが、令和3年4月より「茨城県スポーツ協会」へと名称を変更し、新たなスタートを切りました。そして、本協会の事業におきましては、「世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業」が2年目を迎え、昨年度のジュニアアスリート育成選手1期生30名に続き、今年度は2期生36名を選考し、本協会加盟団体の皆様のご協力をいただきながら、国内外で活躍するトップアスリートの輩出を目指して、計画的・継続的な育成プログラムのもと競技力の向上を進めているところであります。

さらに、生涯スポーツの推進につきましては、総合型地域スポーツクラブの育成と定着を図るとともに、指定管理者として堀原運動公園や笠松運動公園の有効活用、利用促進を進めているところであり、今後も各種スポーツ大会やスポーツ教室等の開催を通して県民がスポーツを楽しみ、健康的なスポーツライフを満喫することができるよう努めてまいります。

結びに、関係各位の益々のご活躍とご健勝を祈念いたしますとともに、本協会への更なるご支援・ご協力をお願い申し上げ、巻頭のことばとさせていただきます。

# 世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業 ～ジュニアアスリート発掘・育成プログラム～

## 1. 目的

運動能力に優れた素質を持つ人材をジュニア世代から発掘し、県内競技団体と連携を図りながら、発達段階に応じた適切な育成プログラムを計画的・継続的に実施することにより、全国大会での活躍、そして将来オリンピックをはじめとする国際大会で活躍できるアスリートを輩出する。

## 2. 対象者・育成期間

対象者：県内学校に在籍の小学4年生を対象にスポーツ能力測定を実施し、結果等により30名程度を選考する。

育成期間：小学校4年～小学校6年までの3年間（予定）



スポーツ測定会の様子

## 3. プログラム内容

### ○ジュニアアスリート育成プログラム

- ・選考した児童（育成選手）に対し、県内プロチームや大学及び各種団体等と連携したトレーニング方法や栄養学講座などの育成プログラムを実施。アスリートを目指すための知識や技術等の習得を図る。
- ・競技体験教室を実施し、自分の適性に応じた競技種目を選択し、中学生以降に取り組んでいく競技を選択するため様々な競技を体験する。

プログラム	内容
発達段階開発プログラム	○身体能力プログラム（基礎的運動能力の向上） ○知的能力プログラム（コミュニケーション能力等） ○交流プログラム（トップアスリートとの交流等） ○食育プログラム（栄養指導等）
スポーツ医・科学プログラム	○スポーツ障害・水分補給・熱中症対策 ○メンタルトレーニング
競技体験プログラム	○様々な競技体験
保護者サポートプログラム	○子どもを支えるために必要なスポーツ関連知識 ・スポーツ栄養 ・ジュニア期のスポーツ障害、予防等 ・保護者面談

## 4. プログラム計画

○令和3年度………年4回

○令和4年度以降…年5～10回程度を予定



ボルダリング体験



第2期生ジュニアアスリート育成選手



アイススケート体験